

単位 mm

試験片の区別	幅 W	標点距離 L	平行部の長さ P	肩部の半径 R	つかみ部の幅 B
13 A	20	80	約 120	20~30	—
13 B	12.5	50	約 60	20~30	20 以上

図 4-13

(14) 14号試験片

(a) 14A号試験片：この試験片は主として鋼材の引張試験に用いる。

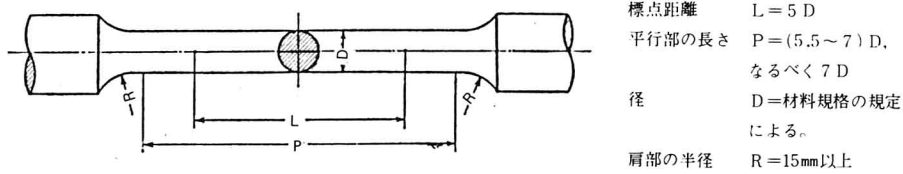
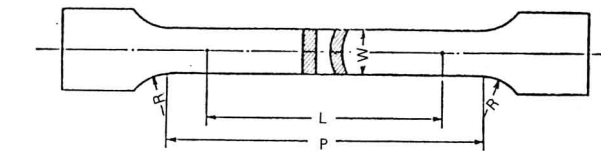


図 4-14-1

(b) 14B号試験片：この試験片は、主として鋼材の引張試験および管状のままで行わない管類の引張試験に用いる。



標点距離 $L = 5.65\sqrt{A}$ (Aは試験片の平行部の断面積)
 平行部の長さ $P = L + (\frac{W}{2} \sim 2W)$ なるべく $L + 2W$
 幅 $W = \text{材料規格の指定による}$ 。ただし、Wは厚さの4倍以下とする。
 肩部の半径 $R = 15\text{mm}$ 以上
 厚さは、もとの厚さのままとする。

図 4-14-2

(c) 14C号試験片：この試験片は、主として管状のままで行う管類の引張試験に用いる。

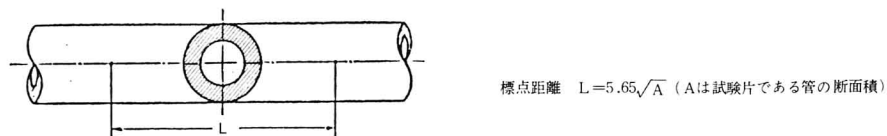


図 4-14-3